

受入農家訪問！

8月に入り、一段と厳しい暑さが続いています。サポーター活動の際は、暑さ対策・熱中症対策をお忘れなく、無理のないようにお願いいたします。

今回は3軒の受入農家さんを紹介します。

目次

受入農家訪問！	1
サポーターの声	2
農業サポーター制度を紹介しました	2

西区鳥原：山崎さん

山崎さんは、切り花やイチゴを栽培している受入農家さんです。伺った日は、サポーターさんとお盆用ススキの選別をしていました。参加していたサポーターさんは、前から山崎さん宅で活動されているようで、作業場は和気藹々とした雰囲気でした。

山崎さんは花やイチゴのほか、様々な作物の栽培にも挑戦されています。最近では、パッションフルーツや木になるトマトを栽培しているそうです。これからお盆に向けて盆花、8月下旬には葉ボタンの手入れが忙しくなりそう、とのことでした。

山崎さんは、相対で受け入れをしています。活動をご希望の方は、直接お問合せください。（初めてのの方は、事務局に連絡をお願いします。）

（上）作業をするサポーターさん。

（下）西区産パッションフルーツです！熟すと実が落ちてくるそうです。



西蒲区长場：川上さん

西蒲区の若手ブドウ農家の川上さんです。広いブドウ畑で、川上さんを中心にご家族でブドウを栽培しています。木には、収穫を待つブドウがたくさんなっていました。

最近では種なしのブドウが人気だそうで、川上さんも種があるものとなないもの、どちらも生産しているそうです。売れる商品作りのために、情報収集は欠かせません。また、希少な品種のブドウ作りにも取り組んでいます。

若手農家こだわりのブドウ作りに触れてみたい方、川上さん宅に行ってみてはいかがでしょうか。

（上）ブドウを収穫する川上さん。これからは収穫で忙しい時期です。

（下）川上さんこだわりのブドウ「黄華」です。長野生まれのブドウで、あまり市場に流通していない貴重なものです。



南区新飯田：本名さん

こちらはベテラン農家の本名さんです。梨やブドウを作っています。伺った時は、広い梨畑の管理作業を、本名さんと奥様でされていました。

この日は取材のあと、農協でブドウの目合わせ会が行われたそうです。いよいよ、本格的なブドウの出荷シーズンを迎えます。収穫時期は忙しく大変ですが、一年手をかけて栽培してきた作物が実り、嬉しい時期でもあります。

ベテランサポーターさんが多く活躍している本名さん宅ですが、まだ参加したことのないサポーターさんも大歓迎だそうです。興味のある方は、ぜひサポートをお願いします。

（上）梨の管理作業をする本名さん。梨棚の下は、日差しが和らぎます。

（下）サポーターさんが袋掛けした梨がありました！



受入農家が出店するイベントへ…

7月17日・18日に開催された「潟マルシェ」イベントに、今年度から受入農家に加わった若手農家、石本さんと高松さん(ともに江南区)が出店することで伺ってきました。

18日に出店した石本さんはキャベツ・枝豆・カボチャ等の野菜とブルーベリーを販売していました。

直売所やイベント等で受入農家さんを見かけたら、ぜひ、自慢の農産物を味わってみてください。サポーターさんがお手伝いしたのものもあるかもしれませんよ！



たくさんの農産物が並ぶ石本さんのブースです。

農業サポーター制度を紹介しました

7月12日に開催された、中央公民館主催の「セカンドライフ農業体験講座」にて、「聞いてみよう！農業サポーターってどんなことするの？」をテーマに、農業サポーター制度の紹介をしました。

サポーター制度発足当初からご協力いただいている受入農家の真田さんと、真田さん宅で長年活動している2名のサポーターさんに講師としてご協力いただきました。

事務局が制度の内容を紹介した後、真田さんから、受入農家としてサポーター制度に関わった感想や、参加しているサポーターさんの様子、栽培している作物の紹介をしていただきました。サポーターさんからも、サポーター活動に参加するきっかけや、実際に活動してみたの感想をお話していただきました。



農業体験講座ということで、受講者の皆さんは農業への関心が高く、真田さんのお話を熱心に聞かれています。



講座の後半では、受講者の皆さんと交流の時間を取りました。サポーターさんに直接質問ができる、貴重な時間となりました。

サポーターの声

サポーターさんから寄せられた、活動の感想を紹介します。

○枝豆の種をまくカップに土を入れる作業をしました。機械から土がザラザラと出てきて山になり、カップに土を入れます。額から汗がジットリと垂れ、暑いけれど、作業の手を休めず、夢中になります。休憩の時の冷たいコーヒーがまたおいしいね、とニッコリです。

✿暑い中活動にご参加いただき、ありがとうございます。作業後の休憩は、ほっとするひとときですね。

○トウモロコシは、梨の重量センサーと同じ仕組みでサイズ分けされます。たくさん入ったケースから1本取り出すたび、2L、3L、などと男女の声で仕分けます。

✿サポーター活動では、普段の生活では触れられない生産現場を知ることができますね。

○サポーター活動で心地よい汗をかき、夜もぐっすり眠れるようになりました。昼に一度家に帰ってシャワーを浴び、午後再び活動に行くこともあります。

✿充実したサポーター活動をされているようですね。これからも、無理のない範囲でご協力をお願いいたします。

今後も、サポーター制度をより多くの方に知ってもらえるよう、PRしていきたいと思っております！ご協力いただいた真田さん、サポーターさん、ありがとうございます。

※「セカンドライフ農業体験講座」は、市内の公民館が主催する、50歳以上の農作業初心者を対象とした講座です。

新潟市農業サポーター事務局（新潟市食育・花育センター内）

住所：新潟市中央区清五郎 401 番地 電話番号：(025)282-4181 FAX：(025)282-4987

休館日：不定休（8月の休館日はありません）

◆電子メール アドレス shokuikuhanai@city.niigata.lg.jp

◆Web サイトのアドレス http://www.city.niigata.lg.jp/business/shoku_hana/nougyo/supporter/supporter_kiroku.html

◆ブログ版「農業サポーター通信」 <http://agri-supporter.shokuhana.com/>

携帯電話はこちらから⇒

